

令和5年7月14日発行

第85号

全戸配布用

# わが街 太子堂・三軒茶屋 スポットライト

発行：太子堂連合町会  
ミニコミ紙編集委員会  
事務局：太子堂  
まちづくりセンター  
電話：03-5787-6368

## 太子堂地区連合町会総会開催

令和5年度太子堂地区連合町会総会が、5月19日(金)7町会から59名が参加して開催されました。  
令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度事業計画及び予算の審議が行われ、それぞれ承認されました。

### 令和5年度事業計画

#### 一、主催事業

- ① 総会の開催・・・5月19日(金)
- ② 古着・古布回収事業  
春・・・6月25日(日)  
秋・・・11月23日(木・祝)
- ③ ごみゼロデー  
9月24日(日)、11月5日(日)
- ④ 新年会・・・1月26日(金)
- ⑤ ミニコミ紙の発行  
年3回の発行(7、11、3月)

#### 二、受託事業

- ① 緑道清掃・・・烏山川緑道の清掃活動  
(太子堂1丁目町会を除く)

#### 三、地域行事・地域活動団体等への助成・協力事業

- ① 太子堂八幡神社祭礼・各神酒所へ奉納  
10月7日(土)
- ② 日赤太子堂分団へ助成
- ③ 世田谷消防団第2分団へ助成
- ④ 青少年太子堂地区委員会各事業への助成・協力・・・ボウリング大会、ふれあいまつり、こどもマラソン大会
- ⑤ 環境美化クリーンキャンペーンへの協力・三軒茶屋駅周辺・・・4、5、6、7月
- ⑥ 駅前放置自転車クリーンキャンペーンへの協力・・・10月

#### 四、その他

- ① 地区情報連絡会(見守りネットワーク会議)への参加
- ② 防災講演会への協力
- ③ 各種募金活動の協力
- ④ 各種研修会・講習会・行事等への参加

### 太子堂地区連合町会役員の一部改選

会長	堀江 鉄拓	太子堂4丁目西山町会	会長
副会長	工藤 たき子(新任)	太子堂1丁目町会	会長
理事	西村 進(新任)	太子堂2丁目大塚町会	会長
理事	古賀 徹	太子堂三軒茶屋町会	会長
理事	河原 満良	太子堂下の谷町会	会長
理事	神田 安則	太子堂本町会	会長
理事	山崎 和則	太子堂5丁目町会	会長
会計	伊波 志津子	太子堂4丁目西山町会	文化厚生部長
監事	鈴木 輝子	太子堂下の谷町会	副会長
監事	高安 謙蔵	太子堂5丁目町会	副会長

尚 副会長であった岩崎光任氏は5月19日をもって退任されました。

### 神社と祭り

八幡神社 宮司 畑中一彦  
神社には氏神社と崇敬神社があります。太子堂の八幡神社は氏神社になります。因みに崇敬神社とは明治神宮のように

氏子地域を持たない神社のことをいいます。氏神社は、地域草創の氏族の祖先神を祀るところから始まり、やがて地域住民の祖霊をも合わせ一体として祭神とし、鎮守の神といわれています。  
太子堂の八幡神社は、名もない社の時代、平安末期、千年ほど前に源氏と関わりができ(前九年の役・陸奥の豪族安倍氏の反乱を鎮めに源氏が征討に赴く途中、戦勝祈願した、との言い伝えによる)、源氏の氏神である八幡神を合祀したと考えられます。

太子堂の地名は、室町時代に聖徳太子像を現在の地に祀った(圓泉寺・太子堂)ことによるものですが、圓泉寺は明治以前、神仏習合の時代に八幡神社の別当でありました。

祭りとは、本来「神を待つ」ことに由来します。祭事執行の求めに応じ来臨した神に感謝し、供物を捧げ、祝詞を上げ、歌舞を奉り、祈願をすることです。

地域社会が発展し大きくなると神の常駐を求めて社が建てられ、年中様々な祭りが行われるようになります。その中でも最も重要な祭りが「例祭」といわれる大祭です。本来、神社の創建記念日であることが多いのですが、農耕地域では収穫の秋に行われるのが一般的でした。

この太子堂地域は江戸時代、御府内に農作物を供給する土地で秋に例祭が行われていました。今日でも踏襲されています。

当時、氏子区域は幕府(天領)、大名(彦根藩)、旗本(知行地)と領地が混在、

分断されてきました。太子堂の氏子達は、心待ちにしていた八幡神社の祭りで、隔てられていた心をつなぐに努め、地域の安泰発展を祈ったそうです。  
氏神社は今も昔もその地域の信仰の中核・柱です。

その祭礼では皆一体となって参加・奉賛し、親しく御神体を奉じた神輿を迎え、「神人和楽」が実現し、町の活性・発展を生み出します。そこには神の下、住民個々の地位、身分、思想や宗教を超えた晴れの世界が展開するのです。

神社の祭りの一番の意義はここにあると思います。今年は祭り復活元年の年です。その意味を理解し大いに盛り上げ楽しみましょう。



### わが街で100年続く お店シリーズ②

#### 蕎麦処 ほていや

私の祖父母は当初、横浜の料亭で働いており、祖母の姉夫婦が「ほていや」という屋号で現在の場所(日本そば店を営んでいた)で営んでいました。

大正十二年九月、関東大震災が起き、  
2面に続く